

機器仕様書

駐車券発行機 (TD)

1. 概要

- 1.1) 駐車場入口に設置し利用者に対し駐車券を発行します。車路に埋設されたループコイルが車両を感知した状態で、押ボタン操作により駐車券が発行されます。
- 1.2) 駐車券発行時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送（満車時は満車案内放送）を行います。また案内放送は駐車券抜き取り又は設定回数終了後に自動的に停止します。
- 1.3) 駐車券は磁気ストライプ紙を使用し、機械番号・入場番号・料金種別・入場年月日時分が印字されます。
- 1.4) 定期券読取りによる定期車両の入場管理が可能です。発券方法は押ボタン操作とし、ボタン操作する前に駐車券発行口で定期券を読取らせませす。
- 1.5) カーゲートと連動し、駐車場入口の無人制御を行います。
- 1.6) 駐車券発行後、券を抜き取らずに車両が後退した場合は発行された駐車券を本体内に取込みます。(廃券処理)

2. 定格

- | | |
|----------------|---|
| 2.1) 電 源 | AC100V±10% 50/60Hz (D種接地) |
| 2.2) 消費電力 | 定格：34W |
| 2.3) 質 量 | 約 85kg |
| 2.4) 塗 装 色 | 標準色：マンセル 10YR8/12 (黄色) |
| 2.5) 材 質 | 外装ケース：2.0 mm SUS 鋼板製
ベ ー ス：6.0 mm SUS 山形鋼製 |
| 2.6) 形 状 | 自立型 防雨構造 |
| 2.7) 時 計 方 式 | 水晶発振方式 週差±3 秒以内 (20℃～30℃以内) |
| 2.8) メモリバックアップ | 時計・入場番号・設定内容に対し累計 3 年間 |
| 2.9) 使用周囲温湿度 | -10℃～+40℃ 10%～90%RH (結露なき事) |
| 2.10) 据 付 | 4-M12 のアンカーボルトにより底面を固定 |

3. 仕様

- | | |
|--------------|---|
| 3.1) 発 券 方 法 | 自動又は押ボタン
(設定により二者択一。但し、定期券を使用する場合は押ボタンのみ) |
| 3.2) 駐 車 券 | ファンホールド式磁気ストライプ紙
54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1 枚
7000 枚 (3500 枚 × 2 パック) 収納可能 |
| 3.3) 定 期 券 | PET材 (アマノバイナリカード)
54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1 枚
基本・拡張 1～3 を合わせて 12000 件登録可能 (種別 15 種分類可能) |
| 3.4) 印 字 内 容 | 機械番号 (1～20) ・ 入場番号 (5 桁) ・ 料金種別 (A～L)
入場年月日時分
機械番号、料金種別は設定で印字する / しないを選択可能 |
| 3.5) 印 字 機 構 | 9×7 ドットマトリクスプリンター
インクリボンカセット方式 (リボン色は黒) |
| 3.6) 案 内 表 示 | 『時計表示・操作案内 等』 |

機器仕様書

駐車券発行機 (TD)

3.7) 発行速度	バックライト付モノクロLCD表示器 1.3秒
3.8) 廃券処理	自動的に本体内部に収納 (収納枚数 約200枚)
3.9) 警報出力信号	無電圧接点 チケット切れ (2パックのどちらか無くなった場合に出力)
3.10) その他	手順案内音声装置内蔵、連絡用インターホン子機取付

機器仕様書

全自動料金精算機 (A P)

1. 概要

- 1.1) 駐車場出口に設置し利用者に対し駐車料金の精算を行います。車路に埋設されたループコイルが車両を感知して精算が可能な状態になります。
- 1.2) 精算時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送を行います。
- 1.3) 駐車券投入口に駐車券を差し込むと表示と音声で駐車料金をお知らせします。支払いは硬貨又は千円・二千円紙幣で精算できます。その他サービス券、プリペイドカードでの精算も可能です。
- 1.4) 定期券読取りによる定期車両の出場管理が可能です。
- 1.5) 出庫完了までに該当釦を押すことにより領収証を発行することができます。
- 1.6) カーゲートと連動し、駐車場出口の無人制御を行います。
- 1.7) 精算記録及び集計記録はジャーナルプリンターに記録されます。
- 1.8) 金銭管理機能により案内表示器に現在の金種毎の保有枚数が表示できます。また、扉を開けずにつり銭の補充ができます。
- 1.9) 自動、手動、半自動、精算無し精算が可能です。

2. 定格

- | | |
|--------------|---|
| 2.1) 電 源 | AC100V±10% 50/60Hz (D種接地) |
| 2.2) 消費電力 | 定格：348W |
| 2.3) 消費電流 | 定格：6.9A |
| 2.4) 質 量 | 約 274kg |
| 2.5) 塗 装 色 | 標準色：マンセル 10YR8/12 (黄色) |
| 2.6) 材 質 | 外装ケース：2.0mm SUS 鋼板製
ベ ー ス：6.0mm SUS 鋼板製 |
| 2.7) 形 状 | 自立型 防雨構造 |
| 2.8) 時 計 方 式 | 水晶発振方式 週差±3秒以内 (20℃±5℃)
停電補償：内蔵バッテリーで累計3年間 |
| 2.9) 使用周囲温湿度 | -10℃～+40℃ 10%～90%RH (結露なき事) |
| 2.10) 据 付 | 4×M12のアンカーボルトにより底面を固定 |

3. 仕様

- | | |
|----------------|--|
| 3.1) カード読取方式 | 磁気ストライプ読取方式
長手4方向読取 (表・裏・前・後)
但しプリペイドカードは2方向
エンボスカード対応可能 (読取方向は1方向) |
| 3.2) 案 内 表 示 | 『料金表示 (駐車料金、投入金額、残金額、釣り額) 時計表示
・操作手順 等』
LEDバックライト付 12.1インチ透過型 TFT カラー液晶表示器 |
| 3.3) 操 作 ボ タ ン | とりけし、駐車券紛失、領収証発行 |
| 3.4) 演 算 機 能 | |
| 3.4.1) 計算日数 | 12ヶ月 |
| 3.4.2) 計算単位時間 | 1分単位 最大9時間59分 |
| 3.4.3) 計算単位料金 | 10円単位 最大999990円 |
| 3.4.4) 車種区分 | 12種 |
| 3.4.5) 料金体系 | 3体系 |

機器仕様書

全自動料金精算機 (A P)

- 3.4.6) 料金帯区分 昼夜帯方式：最大6区分
 通減帯方式：最大12パターン
- 3.4.7) サービスタイム 0～720分 1分単位
- 3.4.8) グレータイム 0～120分 1分単位 (おまけ時間)
- 3.4.9) ラグタイム 0～120分 1分単位 (事前精算システム時使用)
- 3.4.10) 最大料金の設定 6・12・24時間最大または時刻指定毎最大の二者択一と絶対最大
 ※最大料金の設定は10円単位で設定
- 3.4.11) 駐車券紛失料金 固定料金または指定時刻料金計算の二者択一
 固定料金：10円単位 999990円まで任意に設定可能
 指定時刻料金計算：車種 (12種) を指定可能
- 3.5) 領収証発行 出庫完了までに領収証鈕を押すと発行
 印字方式：サーマルプリンター
 1 ロール発行回数：約800回
 (標準印字内容の場合。(ロゴ印字有、ヘッダー印字無し))
 領収証上部にビットマップ画像のロゴ印字が可能
 ヘッダー印字4行、フッター印字4行まで可能
 再発行可能 (係員操作による)
- 3.6) 精算中止 料金投入の途中でとりけし鈕を押すと投入金額を返却
 (サービス券等を投入している場合は、駐車券に割引内容を記録して駐車券のみ返却)
- 3.7) 使用貨幣 10・50・100・500円硬貨及び千・二千円紙幣
- 3.8) 釣銭装置
- 3.8.1) コインメック 10円 (約90枚)、50円 (約78枚)、
 100円 (約77枚)、500円 (約68枚)
- 3.8.2) 手動補給筒 10円 (約100枚) / 100円 (約88枚) の二者択一
- 3.8.3) 予蓄ホッパー 10円 (約480枚) / 50円 (約510枚) / 100円 (約490枚) /
 500円 (約330枚) の二金種または同一金種×2を選択可能
- 3.9) 金庫収納方式 硬貨：鍵付き金庫
 約2000枚 (すべて100円硬貨の場合)
 紙幣：鍵付き金庫に整列収納
 約600枚 (官封券換算)
- 3.10) 廃券枚数 約3000枚
- 3.11) 営業記録 金庫抜き取り (金庫合計)、管理カード使用・その他キー操作により任意に領収証用紙に印字・発行
- 3.12) 集計項目
- 3.12.1) 売上集計
 総現金売上額、総掛売額、総売上額、総精算回数、総出庫回数 (印字のみ)、
 紛失精算回数、紛失精算現金売上額、料金種別毎精算回数・現金領収額、種別
 時間割引回数・金額、プリペイドカード (回数券) 使用回数・金額、サービス
 券種別毎精算回数・金額、店No.毎割引回数・金額、定期種別毎使用回数、領収
 証発行回数、サービスタイム内精算回数、ラグタイム内出庫台数、強制アンチ
 パス OFF 精算回数、手動精算回数、支払不足回数・金額、金庫総入金額、紙幣
 金庫入金額、コイン金庫入金額、金銭データ、精算中止回数・精算中止現金売
 上額、釣銭払戻額、預り証発行回数、等を設定により任意選択
 上記集計のT、GT、MTの各小計、合計、前回T、前回GT、前回MT

全自動料金精算機 (A P)

3.12.2) 駐車分類集計 (下記 10 種より 1 種選択)

- ① 駐車時間別台数集計 (48 分類)
 - ② 駐車時間別台数、料金集計 (48 分類)
 - ③ 駐車料金別台数集計 (48 分類)
 - ④ 駐車料金別台数、料金集計 (48 分類)
 - ⑤ 入車時刻別精算台数集計 (48 分類)
 - ⑥ 精算時刻別精算台数集計 (48 分類)
 - ⑦ 入車、精算時刻別精算台数集計 (48 分類)
 - ⑧ 出庫時刻別精算台数集計 (48 分類)
 - ⑨ 入庫、出庫時刻別精算台数集計 (48 分類)
 - ⑩ 精算時刻別精算台数・料金集計 (48 分類)
- (①～⑩の 48 分類と⑤～⑩の 24 分類の同時集計可能)

3.13) 定期券

P E T材 (アマノバイナリーカード)
54 mm (巾) × 85.7 mm (長) / 1 枚
基本・拡張 1～3 を合わせて 12000 件登録可能 (種別 15 種分類可能)

3.14) プリペイドカード

設定金額 10～61000 円 (使用毎に残り金額を書換えて返却)
使用度数 (7 段階) をマークプリント
※回数券との併用運用は不可

3.15) 回数券

1 度数設定金額 10～9990 円または無料
1 枚で 11 度数使用可能 (使用毎に残り度数を書換えて返却)
使用度数 (11 段階) をマークプリント
※プリペイドカードとの併用運用は不可

3.16) サービス券

15 種 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切替)

3.17) 掛売券

店No.1～100 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切替)

3.18) 駐車券掛売処理

3.18.1) 割引ライター (AR100)

店No.1～62 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切替)
※割引内容と分類は掛売券と共通

3.18.2) 割引ライター (AR150, AR200, AR300)

店No.1～255 (時間割引、全額割引、料金割引、車種切替) 割引
種別 7 種類まで可能
※掛売券との併用運用は不可

3.19) 割引内容

3.19.1) 時間割引

0～99 時間 59 分 (1 分単位)

3.19.2) 料金割引

0～9990 円 (10 円単位)

3.19.3) 車種切替

12 種

3.20) 外部出力信号

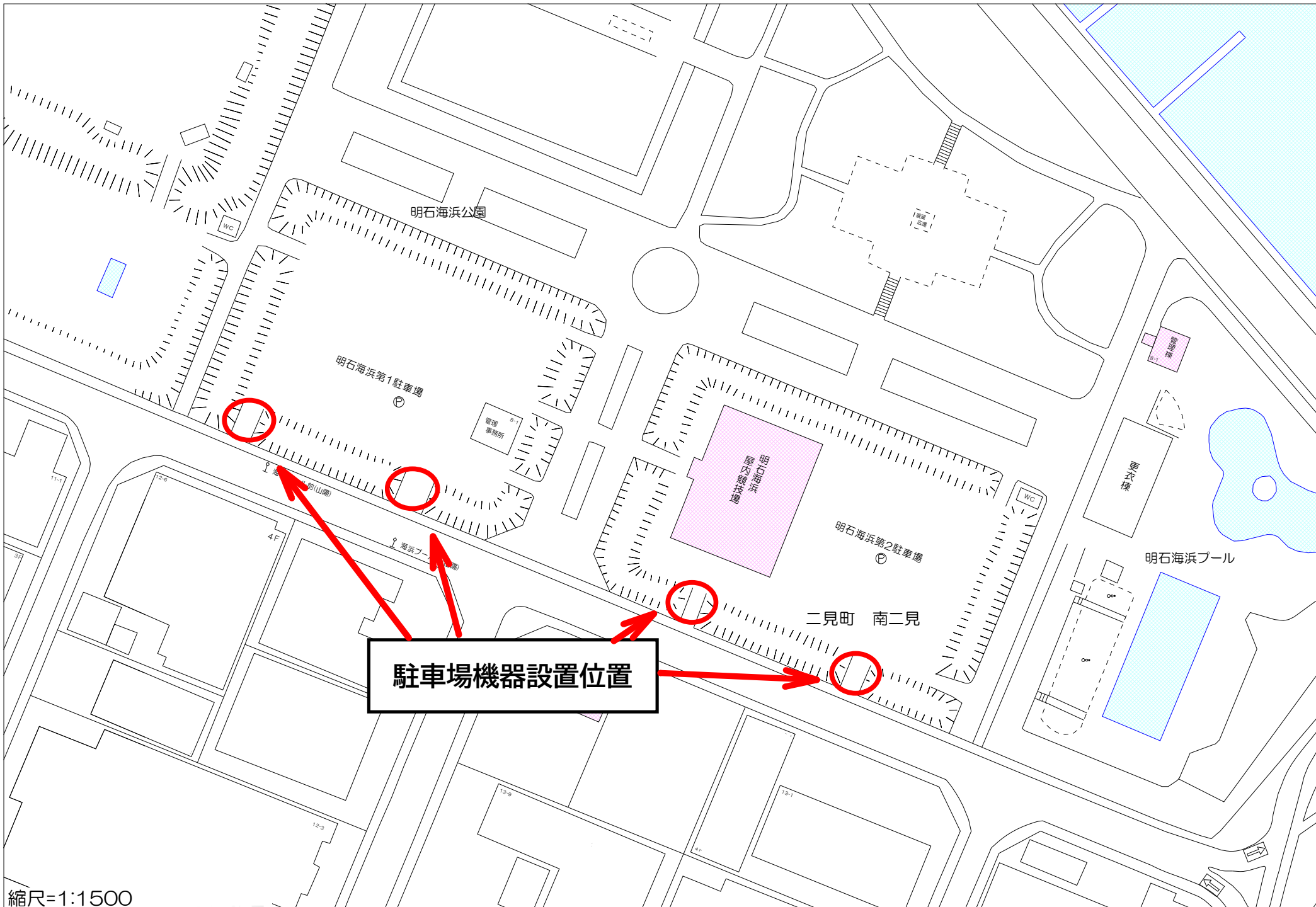
8 出力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
ゲート開・ゲート閉 (カーゲート連動時には必須)
精算完了、釣銭切れ・予告、レシート切れ・予告、トラブル、
ドア警報 (該当キーを解除せずに左扉を開いた場合に出力)、
金庫満杯、満車、他

3.21) 外部入力信号

3 入力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
ゲート閉状態 (カーゲート連動時には必須)、ゲートバー折れ、

全自動料金精算機 (A P)

- 3.22) 管理カード
 車種切換、強制休業、強制営業、外部ゲート開、外部ゲート閉、ゲート開放、他
 小計カード、補充カード、自動棚卸カード、係員カード、管理者カード
- 3.23) その他
 ・手順案内音声装置内蔵 (時間帯自動音量調整可能)
 ・連絡用インターホン子機取付
 ・特別日 (年間 31 日) と特別期間 (年間 3 期間) が設定可能 (特別期間は特別日より優先)
 ・ハッピーマンデー、春分・秋分の日対応
 ・インベントリー払出先 (金庫/つり銭取出し口) が選択可能
 ・駐車券を領収証として発行可能
 ・係員スイッチを配置 (エラー表示、券データ表示、状態プリント)
 ・案内表示バックライトは時間帯自動輝度調整可能
 ・釣銭硬貨循環用リフターオプション付



駐車場機器設置位置

縮尺=1:1500